

第二言語・外国語としての日本語教育から発信できること

迫田 久美子

1. 日本語教育の特殊性
 - 1) 国内における日本語教育(第二外国語としての日本語)
 - 2) 海外における日本語教育(外国語としての日本語)
 - 3) 海外における日本語教育(継承語としての日本語)

2. 国内における年少者日本語教育の現状
 - 1) 日本語指導の必要な学習者の割合が示すもの
 - 2) 年少者の国別割合が示すもの
 - 3) 年少者教育の課題から学ぶもの
 - ・学習者の母語喪失
 - ・学習者のアイデンティティー

3. 海外における中等教育の日本語指導の取り組みから
 - 1) 増加する東南アジアの日本語学習者の背景
 - ・世界の日本語学習者の53.5%は中等教育の生徒
 - ・インドネシアでは、2009年の調査で3年前に比べて学習者が約1.5倍に急増
 - 2) 中等教育と高等教育の連携プログラムの実践
 - ・タイでは、高校と大学の先生の連携によるプロジェクトが実施(ドラマコンテスト他)
 - 3) 東南アジアのネットワークの芽生え

4. 第二言語教育・外国語教育としての日本語教育からの提言
—他言語・他分野との連携—
 - 1) 日本人の外国語教育と日本人の母語教育
 - ・第一言語と第二言語の関係／国語教育との連携
 - 2) 外国語の学習・習得過程の研究から学ぶ
 - ・第二言語習得研究や言語心理学との連携
 - 3) 具体的な活動からスタート
 - ・「実践研究フォーラム:私の工夫・私の失敗」日本語教育学会

(国立国語研究所日本語教育研究・情報センター)